

アンケート
その後…①

上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一 編集
連絡先090-9579-3953
上西校区長責任発行

（質問1）校区で生活するみなさまへ
アンケート

①地域のみなさまにアンケート
(1) 校区としての困りごと
(2) 校区としてごありたい姿
高学年以上の方は全員ご協力ください。
自治会長または班長にお渡しください。

②地域ワークショップの開催
できるだけ多くのみなさまのご意見を集めて、
地域ワークショップに活用したいと考えています。
ぜひご協力をお願いします。

上西校区長 塩崎 義政

【回答期限】6月30日（木）

性別 男性 女性 年代 年代

（質問2）校区が5年後・10年後こうなるというものを選んでください。
↓1つ選択。この欄に○をつけてください。

移住者を受け入れて人口が増えている。
単身者が結婚できるようなサポート、人口が増えている。
小中学校の留学生を増やし、複式学級がなくなる。
農業等を核とした一次産業の発展により人口が増えている。
大型ショッピングセンターやコンビニを誘致し、交流人口が増える。
校区内で高齢者施設や拠点施設をつくり、見守り体制の構築 生きがいづくりの場ができる。
既存企業への支援や企業誘致により働く場の確保ができる。
空き家が管理できる仕組みを構築し、人口が増える。
高齢者がいつでも移動できる交通機関の手段を確保し、 行きたいところへ移動できる。
観光客が増えるように観光地化し、交流人口が増える。
災害時に避難できる頑丈な避難場所が確保され、災害に強い地域

校区民のみなさん、昨年夏に実施された左のアンケートを覚えていますか？

これは提出後にどう活用をされて、今後はどのように活かされるのか、報告します。

（質問1）「困りごと」（質問2）「校区の5年後、10年後の未来の姿」について
校区民全員の分を市役所地域支援課が集計しました。多かったものは…

（質問1）「困りごと」

- 児童数が減り、小学校の存続が心配。
- 子育てしにくい環境にある。
- 役員のなり手が少なく、役員になった人は負担が大きい。
- 若い人が少なく、地域活動を支える若者が少ない。

（質問2）「校区の5年後、10年後の未来の姿」

- ◇このまま穏やかな自然や文化のなかで、暮らしていきたい。
- ◇高齢者が住みやすい地域にしたい。

この結果を受けて、昨年、校区内の十代～七十代の男女28名が参加してワークショップ（＝ファシリテーターと呼ばれる司会者を中心に、参加者が自発的に建設的な発言をする場）を10月に2回実施しました。その結果、下の6つの計画とメンバーが決まりました。

リーダー・塩崎 義政

若者・家族向けの
住宅建設

リーダー・塩崎 慎太郎

移住者向け空き家の
リフォーム

リーダー・平原 弘己

地域住民の交流・
高齢者の見守り

リーダー・長野 正育

農作物のオリジナル
商品開発・販売

リーダー・長野 恒明

役員の負担軽減

リーダー・松元 秀樹

情報発信

この6つのグループが今年1月18日と2月1日に会合を持ち、今後はどう進めるかについて話し合いました。それぞれのグループの活動内容については4月下旬発行の「上西だより」86号で報告します。